

山陰車両整備株式会社 検査機器や設備の高度化で効率的に検査実施

都道府県 鳥取県

従業員数 27人

事業 自動車整備業

事業概要

- 鳥取県西部で約60年自動車整備事業者として営業。
- 指定整備工場として、軽自動車、乗用車、貨物自動車、二輪車等の点検整備を実施している。
- 平成21年には、サブディーラーとして店舗を開設し、2拠点体制で自動車整備、販売に取り組む。



抱えていた課題



- 使用していた検査ラインが老朽化し、修理のための消耗部品の製造が終了し修理ができなくなっており、故障すると業務ができなくなるおそれがあった。
- 指定整備記録簿の記入を手書きで行っていたため時間がかかっていた。
- 記録簿は指定の用紙を都度購入しなければならず、費用もかさんでいた。

導入後の変化、効率化された業務

- 自動車検査機器を自動化設備に更新し、テスターなどの調整が自動で行われるようになった。
- 記録簿の作成において自動でPCに数値が入力されるようになり、また一般的に売られている用紙に印刷により作成できるようになった。

導入した「検査ラインシステム」の特徴

- 各種車検機器（テスター）をコンピューターと接続して、検査ラインの自動制御を行うと共に、車両の測定及び合否の色判定を行い、検査を効率よく行うためのシステム。
- 受入点検・整備・完成検査、記録簿及び保安基準適合証などの書類作成まで検査業務をシステム化して、合理化、効率化、正確さの向上を計ることが可能。

成果



- 従来2人で15分程度かかっていた作業が、1人で5分程度に短縮。作業時間の短縮と作業人員の効率化を実現。
- 設備から記録簿への転記ミス、計算間違いがなくなった。また、記録簿作成にかかる時間を削減することができた。
- 用紙の購入代金の削減につながった。